

8月5日
自然公園クリーンデーに合わせて
環境省などが屈斜路湖畔で清掃活動



環境省と摩周・屈斜路パークボランティア、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部の職員など13人が8月5日、屈斜路湖東岸にて清掃活動を行いました。毎年8月の第1日曜日は「自然公園クリーンデー」として各地で美化清掃活動が行われており、その一環として実施。拾ったゴミは空き瓶や缶、ペットボトル、発泡トレイなど、計9袋を回収しました。参加者は「毎年行っているのがゴミは少なくなっているように感じる。公園内のさまざまな場所を綺麗にできたら」と話していました。

8月5日
歩行者天国と音楽イベントで地域おこし
若者が企画したサマージャック弟子屈



サマージャック弟子屈(同実行委員会主催)が8月5日、中央通商店街で開催されました。まちのにぎわいを取り戻したいと、上村剛志実行委員長をはじめとした町内の30代有志が企画したもので、昨年に引き続き4回目。さまざまな出店が通りを埋めたほか、多彩なイベントや弟子屈小学校吹奏楽少年団、弟子屈中学校吹奏楽部、PLバントワラー弟子屈教室、I&Mバトンスタジオの皆さんの発表が行われました。また、特設ステージでは、国内の第一線で活躍するレゲエ歌手の皆さんなどの公演も行われました。

多くの人でにぎわった会場

8月8日
世代を超えた交流を
第2回世代間交流盆踊り大会を開催



町老人クラブ連合会(竹内勲会長)が主催の第2回世代間交流盆踊り大会が8月8日、社会老人福祉センターで行われました。町連合会から95人と、町内3つの放課後児童クラブからおおよそ90人の子どもたちが参加し、盛大に開催されました。子どもたちは会場中央に組まれたやぐらを囲んで今年も北海道盆踊りに挑戦。同連合会の方々のお手本を見ながら一生懸命踊りました。その他にも太鼓演奏体験や仮装盆踊りが実施され、大人も子どもも輪になって盆踊りを楽しみ、世代間の交流を深めました。

見よう見まねで輪になって

8月6日
看護師の仕事を1日体験！
弟子屈高校1年生3人が職場体験



弟子屈高校(宮崎円校長)の1年生3人が8月6日、摩周厚生病院(森正光院長)で看護師の体験学習を行いました。10年以上前から、同校の看護・介護・医療などに興味のある生徒を受け入れ、毎年行われています。生徒たちは白衣に着替え検査室や手術室などをまわり医師や技師など病院で働く方々の仕事を学ぶ。見学後は、病棟でシーツ交換や車いす移動の介助などを体験し、患者さんへの足浴も行いました。緊張した様子でしたが、患者さんへきちんと声を掛けるなど積極的に参加し、無事に学習を終えました。

血圧計や聴診器も使い学習

8月14~17日
観光の合間にひと息
川湯EMCでカフェを開設



川湯エコミュージアムセンターで8月14~17日の間、カフェコーナーが開設しました。阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトの一環として、同センターの2階を改装し、カウンターやテラス席20席を用意。地元のカヌーガイドと飲食店のオリジナルコーヒーや地元食材を使ったスイーツなどが販売されました。期間中には、同センターのスタッフによるトークショーも行われ、今月末には多言語に対応する大型の解説パネルも設置されます。カフェコーナーは、9・10月にも開設される予定です。

落ち着いた雰囲気です

8月10日
利用者に安全に利用してほしい
町内2キャンプ地で防犯啓発活動



平成30年度キャンプ地合同巡回パトロールが8月10日、砂湯キャンプ場と和琴キャンプ場で行われました。キャンプ地の安全な利用を呼びかけるため、利用客の増えるこの時期に毎年行われています。当日は7つの関係団体から合わせて約30人が参加。和琴と砂湯の二手に分かれ巡回をしながら、それぞれのキャンプ場の利用者に啓発品を手渡しました。

利用客に啓発品を手渡す

7月13日
認知症予防などの日頃の活動が評価
奥春別寿会が「生き生きシニア活動顕彰」に選出



奥春別地区寿会(大谷英裕会長)の皆さんが、公益財団法人日本生命財団が実施している「生き生きシニア活動顕彰」に選出されました。今回の顕彰は、認知症予防の一環として行っている定期的な運動教室などの日頃の活動が評価されてのもの。7月13日には、北海道赤れんが庁舎(札幌市)にて贈呈式が行われ、同会の事務局長である齋藤陽平氏が出席。日頃の活動の様子や今後の抱負についての発表も行いました。今後はより一層豊かな地域づくりに貢献されるよう活動が期待されます。

贈呈式での齋藤事務局長

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。
まちなみ政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

7月27日
今年の糖度も十分
摩周メロン豊穰祭で出荷開始を祝う



摩周メロン生産組合(藤田重太郎組合長)の「豊穰祭」が7月27日、町農産物集出荷センターで行われました。豊穰祭では、川口摩周湖農業協同組合長と藤原弟子屈郵便局長、吉備津副町長がメロンカットを行い、摩周メロンの出荷開始を祝いました。摩周メロンは同組合の8戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」と、町のふるさと納税の返礼品だけの取り扱いで市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。6月からの天候不順はありましたが、糖度は十分。およそ2万玉が順次出荷されます。

出荷を祝ってメロンカット

7月25日
平和の尊さを忘れない
戦没者追悼式で誓いを新たに



平成30年度弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センター大集会室で行われました。毎年この時期に、遺族や関係者らが集まり行われています。約50人が参列し、一人ひとりが献花・黙とうをささげました。徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙げることは誠に意義深い。ふるさと弟子屈を離れ、戦禍に倒れた御霊に哀悼の誠をささげる」と式辞を述べました。

献花を行う参列者

8月5日
親子で作品づくり
夏休み親子トンカチ広場を開催



町主催による『夏休み親子トンカチ広場』が8月5日、町林業多目的センターにおいて開催されました。当日は子ども3人、大人2人、あわせて5人が参加し、親子での夏休みの思い出として、また自由研究の作品として熱心に作品を作っていました。作品制作では大人も真剣に作業しており、子どもたちは楽しみながら上手にノコギリやカナヅチを使っていました。

親子で協力して作品づくり

7月27日
入所者の皆さんと夏を満喫
老人ホーム倭和園で「倭和園祭」を開催



老人ホーム倭和園で7月27日、「倭和園祭」が行われました。入所者の皆さんにお祭りの雰囲気を楽しんでもらいたいと、家族会と職員が中心となり、毎年行われています。今年初めて、屋外の同園駐車場で行われ、おひさま保育園の園児も招待され、関係者100人ほどが参加しました。好天にも恵まれ、焼きそば、流しそうめん、フランクフルトやいも団子など、たくさんの食事と、ヨーヨー釣りやくじ引きなどもあり、入所者の方も「外での食事はおいしく、お祭りのようでとても楽しい」と笑顔で話していました。

園児と一緒に流しそうめん